

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発！

日刊千葉労働組合

国鉄千葉労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（労働組合館）
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番
(公) 043(222)7207番

99.11.22 No. 5050

12月ダイ改競争を闘いゆこう！

-千葉支社ダイ改交渉報告③-

会社は、訓練の
べきだ

(五〇四九号からのつづき)

組合 運転士の定例訓練の方についてはこの間も議論してきたが、会社として運転保安を重視した内容に改めるべきだ。例を上げれば、試験の方に力が入つてしまい日常の事例の対応等の話が二の次になってしまっている。今の訓練の中では試験の内容と伝達事項だけになつてしまい、具体的な話にならない。会社 若手とベテランが話し合える場、経験を伝える場として活用するなど、意見交換ができると考えている。

組合 安全会議の中身も、結論はいつも「基本動作」だけで、すべてがマニュアル化されてしまふ、理解度だけを計るだけになつていて、これが、これだけではダメだ。マニュアル通りでなくとも解決できるやり方などを話し合えるのが訓練や安全会議という場所ではないのか。

会 「基本動作」は、鉄道が始まつて以来、これまでの築き上げてきたことであり、効果も含めて守つてもらいたいと考えている。

組合 今この会社の姿勢では、現場で自由に行わせるような発想力や知恵を豊かにすることができなくなってきたことが現状だ。

だから、基本動作をやつていてどうかを客室から覗くなどと

いう発想になつてしまふのだ。

この間、事故が続出している中で「基本動作」等を行つても事が続いている。何が原因なのかが問題であり、「基本動作」が形式的に行われているのであれば、違う形でできないのか、発想を変えることも必要でないのか。

会 社として一生懸命行つているところである。事故などの場合でも、本人からの聴取を行なうなかで信号現示のあり方を変えるなど、声をシャットアウトしてはいけない。

組合 定例訓練の基本は、前月に起きた問題や規程の問題、線区の変更などを周知する場だ。年間計画を立てるのは基本だが、競技会のように点数をつけるようなやり方は全く意味をなさなくなっている。安全に列車を運転するための訓練ならないが、運転士同士が競うための会議では問題にもならない。こうした風土にこの一〇数年でなつてしまつたといふことだ。

会 各運転士がどの位理解したかを確認することも、会社としては必要だと考えている。

組合 事故が多発している中で、現場での指導のあり方、そして現場の声が反映されているのかを真剣に考えてもらいたい。

会 今この会社の姿勢では、現場で自由に行わせるような発想力や知恵を豊かにすることができなくなってきたことが現状だ。

だから、基本動作をやつていてどうかを客室から覗くなどと

浦通勤型列車の勝

組合 ダイ改以降、京葉線からの直通で通勤型列車が勝浦に乗り入れることになるが、トイレの設備も何もない車両を運用するのは問題だ。中止すべきだ。

会 他支社においても、一二〇km程度まで乗り入れている。

組合 会社としては、今後も通勤型車両の運用を拡大するつもりなのかな。

会 会社としてはむやみにデータに拡大するつもりはない。

組合 また、今回、快速列車が全て二一七系車両になることから、一二〇km運転を行うというが、言えば無謀なスピードアップは中止すべきだ。

会 スピードアップは、列車の商品価値を高める上で大きな要素となつていて、運転士への負担については、保安装置のグレードアップ、車両の近代化等を行っていく考え方である。今回については、錦糸町～千葉間に、一分の短縮を行うことができた。

会 二一七系の運転について、船橋駅入時でもブレーク扱いに迷うこともあるし、快速列車の翌日には緩行列車を運転するということもあり、ギャップが大きくて負担になつていて、

組合 千葉支社では運転士をどんどん作つておきながら、業務移管がいきなり立ち消えになつたということは、千葉支社の主体性がないということにもなるし、スタンスとしてもおかしいと思わないのか。しかも、ダイ改であれば運転士等の需給情況を見ながら計画を立てているわけだから、ダイ改ギリギリになつて話が消えること自体おかしいではないか。

会 東京支社の要員需給が、今年度も足りたということである。

組合 しかし、運転士の需給について中止になつた理由はどういうことなのか。

会 東京から業務移管をするのが精一杯だった。

組合 労働条件の提案の段階では業務移管があるとの話だったが、概要提案の段階では東京からの業務移管があるとの話だつたが、

会 今回のダイ改においては、

組合 時間がほぼいっぱいの時間になつていて、今回も一分短縮するものが精一杯だった。

東京からの業務移管を

会 今回一分を短縮したが、この時間がほぼいっぱいの時間になつていて、今回も一分短縮する

組合 おり、また、他社との競争の観点からも行っていきたいと考えている。

組合 今回錦糸町～千葉間で一分の短縮を行つたというが、今後も時間を短縮する要素は存在するのか。

会 业务量については、元の業務量に戻したいと考えている今後についても、業務を千葉に戻すように要求していきたいと考えている。(ア)

11・25 動労千葉総決起集会

11月25日 13時30分から

東京・神田パンセ

指定列車 千葉 12時26分

全支部から全力結集を！